

2019年 4月 30日

## 2018年度 総合文化研究所研究助成報告書

研究の種類 ※該当する( )に ○を付ける	・共同研究( )      ・個人研究(○)	
研究代表者 (所属・職・氏名)	国際学部・教授・西山暁義	
研究課題名	外国史授業における「複眼的視点」の適用可能性 --ドイツ近現代史を例に	
研究分担者氏名	所属・職	役割分担
研究期間	2018年4月1日 ～ 2019年3月31日	

### 研究実績の概要(1)

本研究は、ドイツおよびドイツ史を例として、歴史教育における「複眼的視点」の理論と実践を対象とするものであった。具体的な作業としては以下の3つを重点として進めた。

- (1) ドイツの歴史教育における「複眼的視点」の議論の概観
- (2) 二国間歴史教科書(ドイツ・フランス、ドイツ・ポーランド)における「複眼的視点」の実践例
- (3) 日本におけるドイツ近現代史の授業における「複眼的視点」の実践の可能性

各点についての研究成果、実績は以下の通りである。

#### (1)について

- ドイツの歴史教育雑誌、関連著作等を収集し、そこでの議論について調査、確認を行った。
- 戦後ドイツの歴史教育、とくにナチズムの過去にかんする授業についてシンポジウムにおける報告を行い、その際「複眼的視点」についても言及した。

「現代史はどう教えられているか」シンポジウム「よりよき市民性教育のためにードイツにおける政治教育の検討と語学教育の場での実践を考える」(「言語と未来基金プロジェクト(京都地域創造基金助成)」主催)、同志社大学今出川キャンパス、2018年9月8日

本報告は2019年度、ひつじ書房より刊行予定の論文集に所収されることになっている(研究発表の項目を参照)。

## 研究実績の概要（2）

-（別科研で）来日（2018/10）したドイツの歴史教育学者ファルク・ピンゲル氏と意見交換を行った。

### (2)について

- 独仏和解にかんするシンポジウムにおいて、独仏共通歴史教科書において実践されている複眼的視点の東アジアへの適用可能性について報告した。

“Réconciliation de l’Europe, vue de l’Asie de l’Est”, Table Ronde “Réconciliation: l’AND de l’Europe” organisée en partenariat avec les Amis du Mémorial Alsace-Moselle et Chemins d’Europe et le Mont-Sainte-Odile, le 13 octobre 2018.

原稿は、以下の通り刊行されている。

- 2019年3月のシンポジウムにおいて、複眼的視点からみた独仏、独ポ教科書の特徴と、実践面における障害について報告を行った。

「国境を越えることの難しさ—ドイツ・フランス、ドイツ・ポーランド共通歴史教科書の事例から考える」シンポジウム「よりよき市民性教育のために—ポピュリズムのうねりのなかで民主的シティズンシップ教育には何ができるか—」（「言語と未来基金プロジェクト（京都地域創造基金助成）」主催）、大阪学院大学、2019年3月17日  
本報告は、明石書店から2020年度刊行予定の論文集に所収されることになっている（現行締め切り2019年8月末）。

### (3)について

- 2018年10月にミネルヴァ書房『よくわかるドイツ史』の編者（単独）を受任し、その構成として、同シリーズの他の既刊のものとは異なる、複眼的視点を前面に出した構成を立案した。これをもとに、2019年3月27日には同書執筆者を招へいたワークショップを開催し、方針についての確認とともに、各担当の時代、テーマに即した適用可能性について議論を行った。

- 2019年度より、高校新カリキュラムの科目「世界史探究」（旧世界史B）の教科書執筆者となるにあたり（社名は守秘義務のためここでは記さない）、その指針である史料を活用した叙述において、本研究で得られた知見を適用する予定である。

研究発表(印刷中も含む)雑誌および図書

Akiyoshi NISHIYAMA, “Réconciliation en Europe, Réconciliation en Asie de l’Est. Des itinéraires différents”, in: Le Courrier du Mémorial. Bulletin de liaison des Amis du Mémorial de l’Alsace-Moselle, 32(2018), pp.25-31.

西山暁義「ドイツにおける歴史教育と「負の過去」—戦後からの展開と現在の課題」神田靖子（編）『ドイツの市民性教育—連邦教育センターの資料をもとに』ひつじ書房、2019年刊行予定（原稿提出済み）